

広報ひこね

2002

9 / 1



子どもたちの歓声が響く賢木神社境内（安清町）



角さん（賢木神社境内で）

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、困情情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

陸橋のもとには、今も賢木神社があり、7月16日には変わらぬ大祭が行われています。昔日のにぎわいはありませんが、夏の風物詩として、いつまでも続いてほしいものです。

地元安清町の皆さんによって300年来守られ、「神明さん」と親しまれる賢木神社。「7月16日の神明さん」と言えば、夏の夜を彩る大祭でした。道に綱を張って人の往来を整理するほどのにぎわいを見せていたものです。

彦根郵便局の前を通って東海道線をまたぎ、国道8号や名神彦根インターチェンジに至る道は、常に自動車がたくさん往来しています。この幹線道路、かつてはバスも通れない細道でした。鉄道をまたぐ陸橋もなかったころ、道の東詰には、賢木神社の鎮守の森が広がっていました。

すみ
角 栄次郎さん（京町一丁目）

表紙のことば